

第14回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会

会議の概要

日 時：令和元年11月15日（金）10：00～

場 所：福島テルサ 3階会議室 あづま

1. 開会

2. 議題

県北・県中・会津都市計画区域マスタープランについて

- (1) 都市計画区域マスタープランの見直しについて
- (2) 住民意見の反映について
 - ・住民懇談会の実施方法と内容
 - ・アンケート調査の実施方法と内容
- (3) 区域区分の見直しについて
 - ・見直しの基本方針
 - ・市街化区域、市街化調整区域への編入基準等
- (4) 今後のスケジュールについて

3. 審議内容

◇事務局より各議題について説明し、委員から下記の意見をいただいた。
今後、ご意見を参考としながら見直しを進めていく。

(1) 都市計画区域マスタープランの見直しについて

- 世界的課題、SDGs（持続可能な開発目標）等の広い視点からの見直しが必要ではないか。
- 都市づくりのビジョンにおける古い言葉、欠けている部分も検討していきたい。
- 見直し作業中の県総合計画や県土づくりプランとの整合が必要ではないか。
- 基本方針にある「田園地域等」は古くて新しい言葉。幅を広げた議論をしたい。
- 県民の関心の高い「災害・防災」は強調すべきではないか。
- 市街化区域の被災地域、住めない地域、住みたくない地域をどうするか。
- 県北・県中では区域マスと連携中枢都市圏との連携の整理が必要ではないか。
- コンパクトで賑わいのある都市にしていく考えを色濃く出すか整理が必要ではないか。

(2) 住民意見の反映について

① 住民懇談会について

○かなり重要な意見が出ている。よく分析をお願いしたい。

② アンケート調査について

○中学生はお金を自由に使えないので、高校生や大学生等も対象にしてはどうか。

○地域への愛着などが分析できると思うので、属性に住居（一戸建て、賃貸等）、居住年数の項目も加えた方が良いのではないか。

○子供・高齢者をひとくくりにしているが、交通手段は分けた方が良いのではないか。

○子どもの概念も幅広い（あいまい）ので、明確にできるようにしてはどうか。

○アンケートの狙いを明確にしたほうがよいのではないか。

(3) 区域区分の見直しについて

○市街化区域が少ないとの声の一方で、空き家、空き地から見ると、広げなくてもいいという声もある。慎重に議論できれば良いのではないか。

○（震災関連で市街化区域を拡大した経緯を踏まえて）すべての案件で市街地を広げて良いわけではないのではないか。

○都市と田園地域等のあり方の議論も必要ではないかと思う。

(4) 今後のスケジュールについて

○委員の了解を得た。

以 上